



地域の方とのふれあいを大切に(1・2年生)～茶ば～ずさんに教わりました！～



運動会の地域交流種目として、子どもたちと地域の方、保護者の方などと一緒に「水沢音頭」を踊ります。9月17日(水)茶ば～ずのみなさんに講師としてご来校いただき、1・2年生が踊りの指導をしていただきました。わかりやすく言葉を交えながら、たくさんの振り付けを教えていただきました。子どもたちもお手本をしていただく方を見ながら、必死に覚えしました。踊りを教えてくださった方からは「振り付けを教えていると、子どもたちから「おにぎりみた

いだ!」など、振り付けのイメージを言葉にしてくれました。子どもたちの表現力って素晴らしいですね。」と子どもたちの良さを教えてくださいました。運動会当日は、ぜひ、保護者の方も地域の方も子どもたちと一緒に、楽しみながら踊りましょう!



しっかりと実りました!(5年生)～稲刈りと脱穀～

4月の種まきから田植え、稲の生長など、米づくりの学習でお世話になっている地域の学習ボランティアの方にお世話になり、稲刈りを行いました。初めに鎌の使い方を教えていただき、稲刈りを行いました。鎌を使うこと自体が初めての子がほとんどでしたが、作業をしていくうちに、どんどん上手になってきました。稲刈りの後には、脱穀に使う機械を見せていただきました。

刈り取った稲を乾燥させ、今日は脱穀の工程を体験しました。昔ながらの足踏み脱穀機を使い、子どもたちが順に脱穀作業を行いました。回転する扱胴(こきどう)に稲穂をあてると勢いよく中に粃が入っていきます。最初は力加減やどこまで稲穂を入れればよいのか、不安もありましたが、やっていくうちにどんどん脱穀のスピードが上がってきました。機械化が進む中、足踏み脱穀機を使った脱穀は、子どもたちにとっても最初で最後かもしれません。機械化が進む中、鎌を使って稲を刈り取る作業や足踏み脱穀機での脱穀作業を経験したことで、米づくりの苦労や機械を使う便利さ、そして、道具を作り出す人々の知恵や苦労を実感したのではないのでしょうか。



子どもたちの様子や学校の取り組みについてご意見をいただきました ～第3回さらら委員会(水沢小学校コミュニティ・スクール運営協議会)開催～

9月26日(金)第3回さらら委員会が開催されました。2学期に入り、1か月が過ぎ、子どもたちの様子について、参観していただいた感想や学校からの報告に基づき、ご意見やご質問なども交えながらご協議いただきました。学校からは、主に4月に実施した全国学力・学習状況調査結果からみる水沢小学校の子どもたちの強みと弱み(学校だより(ふれあい)第23号にてお知らせした内容です)についてお伝えし、キーワードを用いてまとめる力や学習における基礎・基本の定着など、今後の学校教育活動においてどのような取り組みを行うか、報告させていただきました。また、2学期に入ってから1か月間の子どもの様子も合わせてお伝えしました。

委員の皆様からは、「楽しみながら学習している様子や真面目に向き合っている子どもの姿がよかった」「交流室の掲示物について、学習の履歴がしっかりと追えてとてもわかりやすい」「気持ちを表す言葉が出せず、相手に気持ちが伝わらず、トラブルになる場面があった」「地域学習で、せっかく地域の方からお話をさせていただく場にもかかわらず、聴く姿勢ができていない子どももいて残念」「スリッパがきれいに並べられない実態がある」「もっと子どもたちに責任を持たせる活動を取り入れてはどうか」など、さらに子どもたちに力をつけるためのご意見もいただきました。また、学力・学習状況調査結果から、小学校段階では基礎・基本をしっかりと定着させてもらうことで、卒業後の学習に大きく影響するとのご意見もいただきました。

2学期は、授業や学校行事などを通して、各学年ともにしっかりと力をつける時期でもあります。いただいたご意見を基に、学校教育活動を進めていきたいと考えています。



発見! 水沢っ子の素敵な姿!!

1年生が生活科の学習「どんぐりごまづくり」を通して、回し方や軸の長さなどを工夫する活動を行っていました。こまが出来上がると、次から次へと回し始めました。時間が経つにつれ「一緒に回そう」「私も入れて」「いいよ」と一緒に回す仲間が増えてきました。一緒に回す子の様子を見ながら、さらに自分も工夫してみようと、子どもたちが自然と仲間から「学ぶ」姿に変わっていききました。

